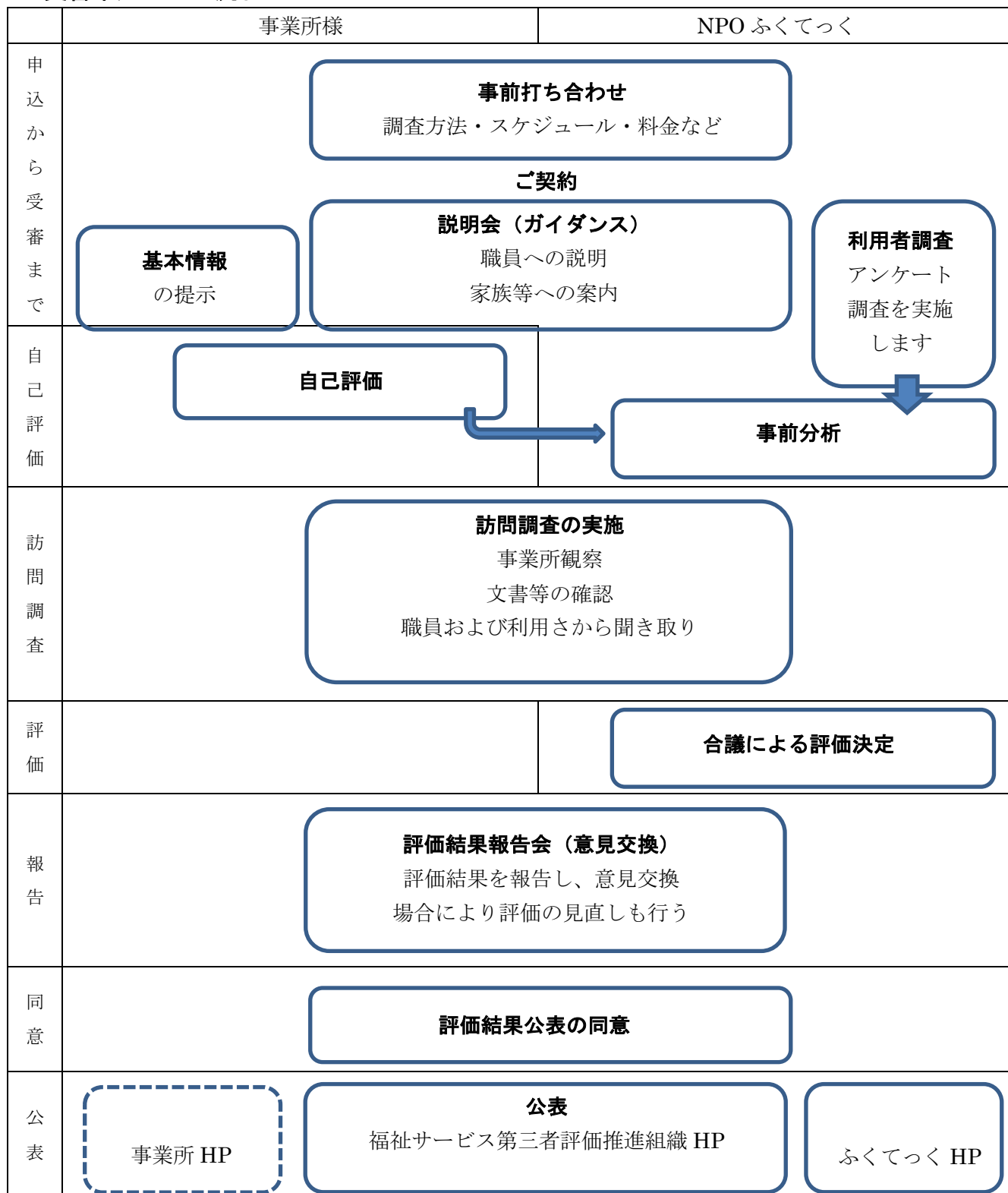


福祉サービス第三者評価の流れと受審費用 (2018.年～2020 年)

特定非営利活動法人 ふくてっく

I 受審申込からの流れ



上記は基本の流れです。進め方や期間の設定は、都度ご相談させていただいております。

II 受審費用

基本料金

一事業所あたりの受審費用として 300,000 円（税抜き）を基本としております。
大規模施設や多機能型事業所の場合、地域分散型事業所の場合は
その実情に応じて、評価活動に要する負担を勘案して、ご相談の上増額させていただきます。
逆に、グループホーム等、小規模な事業所においては相応に減額いたします。（別紙資料）
下記にオプションの取組と費用をお示ししていますが
基本料金には以下の取組を含んでおります。

- ① 評価開始に先立って、評価基準等に関する留意点のガイダンス（1～2 時間）
- ② 基本的なアンケート調査（利用者および職員）
- ③ 評価結果報告と意見交換会（1～2 時間）

オプションの取組と費用

NPO ふくてっくの第三者評価は、他の評価機関には見られない特徴がございます。
これらの取組を選択頂ける場合には、追加料金をお願いしております。
料金については、内容に即して都度ご相談させていただきます。

A. 第三者評価の効果を高めるための事前取組

- ① 第三者評価の目的・意義、各評価項目の間わんとする課題などについて
数回に亘るガイダンスを実施します。（通常 4 時間研修× 2 回）
- ② 今回の第三者評価受審において、特に重点的課題とするテーマについて
数回に亘るワークショップを実施して、関係職員の課題意識を高揚します。

B. より丁寧なアンケート調査と分析結果のフィードバック

当評価機関では、評価調査メンバーに調査・分析の専門家が在席しており、
他に類を見ないアンケート結果分析を実施して、詳細な報告をさせていただきます。
対象は、利用者、利用者家族等および職員としています。
事業所の種別によっては、(幼児または知的障害の場合など)利用者を対象としない場合も
あります。

C. 事業所施設機能の保全にかかる調査・診断

福祉事業所の事業継続において、施設の機能保全・維持は重要な中長期計画のひとつで
すが、これを適切に計画・実行するためには、現状の把握が欠かせません。
ふくてっくの評価調査者には、多数の 1 級建築士が所属しており、その専門性を発揮し
て、徹底した調査・診断と助言を行うことができます。

C. 第三者評価の結果を活かすための支援

第三者評価の結果を活かして、事業所のサービスの質を高めるには、PDCA のサイクル
を定着させることが肝要です。

ふくてっくでは、評価結果の報告会実施を重視しておりますが、それだけに終わらせず、
PDCA サイクルの定着に向けた支援として、

- ① 事業所内改善委員会等にオブザーバー参加して、評価結果説明をさらに詳細に行う。
- ② 特定の課題をテーマにワークショップを実施し、改善への具体化を支援する。
などの取組をいたします。